



和歌山大学附属図書館メールマガジン

第1号

平成17年10月1日

メールマガジン刊行にあたり

日頃は図書館を利用いただき、ありがとうございます。図書館では、皆様により役立つ学内共同利用施設となることをめざして、このたびメールマガジンを発行することにしました。このメールマガジンが、図書館から最近の動きをお知らせするとともに、利用者のご意見・ご提案をいただき、図書館と利用者のかげ橋となることを期待しております。忙しい仕事や勉強が一段落したときに、読んでいただければ幸いです。職員一同、皆様のご意見・ご提案を参考にさせていただきながら、図書館の運営改善に努める所存でございます。どうぞよろしくお願いたします。

(館長 吉本富士市)

おしらせ

= 開館時間の変更 =

10月3日より開館時間が次のとおりになります。

平日 9:00～20:30

土曜日 13:00～17:00

= 休憩室の増設 =

2階のグループ学習室が休憩室として、自由に利用できるようになりました。これまでのようにカウンターへの申し込みは不要です。また、館内では飲食・携帯電話は禁止となっておりますが、この部屋では飲食もでき、携帯電話も使えますのでみなさんで気軽にご利用ください。

なお、1階の休憩室も飲食、携帯電話はOKとしています。

図書館のホームページはコチラ <http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/>

トピックス

= 図書館のキャラクター “ センちゃん ” 誕生 !! =

名前：センちゃん

-説明-



この新しい図書館のキャラクターは和歌山県に生息する珍しいカニの一種であるハクセンシオマネキをモチーフにしています。

このカニの雄は、雌を呼ぶ際に、おおきなハサミで“おいで、おいで”をすするらしいのです。このかわいい仕草が似合う誰からも親しまれるデザインを考えてみました。キャラクターの名前は、センちゃんです。ぜひ、センちゃんのかわいい仕草で、多くの学生さんを図書館に招いてほしいと思っています。

(デザイン、命名、説明は、システム工学部デザイン情報学科3年の小林千尋さんです。)

= 自動貸出装置を導入 !! =



今年から、利用者本人がセルフで貸出手続きができるようになりました。

操作やエラー等につきましては館員にお尋ねください。

なお、返却および貸出更新については従来どおりカウンターで行います。

「自動貸出装置」(上図)の使い方

- 1.画面右上の「貸出」ボタンを押します。
- 2.学生証または利用証を表に向け、機械中央左の「利用者カード台」に置きます。
- 3.図書を機械中央の「図書置き台」に置きます。

画面で貸出処理の終了を確認し、図書を取り出します。他にも借りる図書がある場合は、同じ様に戻り繰り返して下さい。

- 4.全ての図書の処理が終わったら、画面右下の「終」ボタンを押します。
- 5.機械左下から出てくるレシートを取り、学生証または利用証をとります。

注意事項

図書は、必ず1冊ずつ置いてください。

バーコードを上、背表紙を奥にして、左づめで置いて下さい。

「電子ジャーナル閲覧のすすめ」

電子ジャーナルとは、電子ファイルのまま出版する雑誌のことです。ご承知のとおり、雑誌は古くから冊子体（紙媒体）で出版されて来ましたが、最近その状況が大きく変わりつつあります。電子ジャーナルは、1998年頃から大手の出版社が始めたと言われておりますが、今日では、エルゼビア、ワイリー、クルーワー、シュプリンガーなど、大きな出版社の学術雑誌はほとんど電子ジャーナル化されております。また、学会の機関誌も電子ジャーナル化されているものが多くあります。

本学の附属図書館で購読しているものは、下記 URL からアクセスすることができます。ただし、アクセスできるのは学内からのみです。

http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/ej/frame_oj.html

電子ジャーナルを利用者の立場から見たときのメリットは、以下のとおりです。研究室（教員室）のコンピュータから各ジャーナルの URL にアクセスすることにより、興味ある論文を検索し、必要な論文のコピーを直ちに入手できます。したがって、探す手間が簡単ですし、図書館まで出向いて行ってコピーを取る必要がありません。冊子体ですと、図書館へ行って興味ある論文を探すために、かなりの手間が掛かりますし、コピーを取る手間と経費もバカになりません。最近では、動画や音楽を添付している電子ジャーナルも出てきました。

一方、図書館の立場から見ても、電子ジャーナルは以下のメリットがあります。まず、第1にスペースの節約ができます。月刊の冊子体ですと、1年分でもかなりの書棚を占めますが、電子ジャーナルは出版社のコンピュータに蓄積されているジャーナルにアクセスするだけですので、図書館のスペースは原則として必要ありません。また、冊子体ですと、手元に置きたいために複数人が重複購読する場合がありますが、電子ジャーナルは複数人がアクセスすることを前提にしておりますので、重複購読による経費のムダを避けることができます。さらに、代金の割にタイトル数が多いので割得感があります。

もちろん、専門分野によっては、まだ電子ジャーナル化されていなく、冊子体だけの雑誌もあります。また、古い雑誌は電子ジャーナル化されておられません。電子ジャーナルにも欠点がない訳ではありませんが、上記のとおりメリットが大きいので、まだ使ったことがない方は、一度アクセスして見てください。なお、利用についての不明な点は、附属図書館情報サービス係までお問い合わせください。連絡先は、

e-mail: unyo@center.wakayama-u.ac.jp 電話：内線 7914

です。

（館長 吉本富士市）

「図書館利用者アンケート調査結果概要」

図書館が先に実施した利用者アンケートにご協力いただいた教職員、並びに多数の意見や感想をいただきました学生の方々に感謝申し上げます。この調査結果を参考にさせていただき、図書館運営を改善したいと考えております。アンケート調査結果の概要を、以下のとおり報告します。

記

調査期間：平成 17 年 6 月 24 日（金）～7 月 22 日（金）

対 象：学部学生

回収率：37%（在籍者数 4,042 人に対して、1,502 件の回答）

1. 図書館の利用について

- 利用状況
- ・「週 1・2 回程度」37%
 - ・「月 2・3 回程度」24%
 - ・「ほとんど利用しない」13%

- 利用目的
- ・「授業や試験のための学習をするため」25%
 - ・「図書を利用するため」21%
 - ・「その他」の意見は、「休憩」「昼寝」など。

2. 図書館サービスについて

- 開館日
- ・「現状のままでよい」71%
 - ・「日曜日・祝日も開館を希望する」19%
 - ・「日曜日・祝日も開館を希望」の理由は、「自習・学習の場として利用したい」が半数以上。

- 開館時間
- ・「現状のままでよい」68%
 - ・「土曜日の開館時間の延長を希望する」18%
 - ・「土曜日の開館時間の延長を希望する」の理由は、「午前中から開館して欲しい」及び「勉強などに利用」が半数以上。

3. 図書館資料について

- 利用したい図書
- ・「大体ある」64%
 - ・「ほとんどない」21%

- 充実して欲しい資料
- ・「専門図書（和書）」22%
 - ・「教養図書（和書）」18%
 - ・「視聴覚資料（DVD 等）」16%
 - ・「その他」として「小説」「新書」「資格試験の本」など。

4. 図書館の施設・整備について

- 施設・整備
- ・「大体満足している」62%
 - ・「不満である」14%

- 改善すべき点
- ・「空調・冷暖房」、「パソコンの増加」、「専門図書の充実」など。

視聴覚資料で頭脳をリフレッシュ！

図書館には本だけでなく、DVD やビデオといった視聴覚資料があることって、皆さんもう知っていますよね。例えば「フランダースの犬」や「宇宙戦艦 ヤマト」など、その他まだまだたくさんの視聴覚資料がいっぱいあります。

資料は、新着コーナーまたは視聴覚資料コーナーにあります。ぜひ、皆さんにとってのお気に入りの1本を探してみてください。

施設案内 http://www.lib.wakayama-u.ac.jp/frame_riyouhou.html

平成 16 年度の DVD 視聴ベスト 10

順位	題名	件数
1	パイレーツ・オブカリビアン	336
2	冬のソナタ 1	265
3	スパイダーマン	255
4	8 mile	207
5	HERO	200
6	ロードオブ・ザ・リング二つの塔	177
7	冬のソナタ 2	167
8	冬のソナタ 3	149
9	ハリー・ポッターと秘密の部屋	144
10	さよなら、クロ	137

平成 16 年度統計

開館日数は、256 日、内土曜開館は 33 日

入館者数は、220,880 人、内土曜入館者数は、2,937 人

貸出冊数は、25,219 冊（学部・院生のみ）

DVD 視聴件数は、5,673 件

学生用図書受入冊数は、1,669 冊

DVD 受入件数は、183 タイトル

//編集後記//-----

このメールマガジンでは、新サービス情報、新着図書情報など皆さんのお役に立つと思われる情報をいち早くお届けしてきたいと考えております。

また、皆さんが、図書館へ足を運んでいただけるように、よりよい環境作りを目指していきたいと思っておりますので、ご質問、お問合せ、ご感想等は下記アドレスまでお寄せ下さい。(スタッフ一同)

編集・発行：和歌山大学附属図書館

TEL：073-457-7915

FAX：073-457-7919

e-mail：unyo@center.wakayama-u.ac.jp


